
体育史学会 会報

Japan Society of the History of
Physical Education and Sport

No. 219, 2017. 4. 20.

体育史学会事務局
<http://www.taiikushi.org>

〒245-8650

横浜市泉区緑園 4-5-3

フェリス女学院大学国際交流学部

和田浩一研究室内

Tel : 045-812-4287

taiikushi_office@taiikushi.org

事務局への連絡は、なるべく
e-mail をご利用下さい。

1. 体育史学会第6回大会の開催

体育史学会第6回大会が、下記のとおりで開催されます。一般発表は9演題で、この他に体育史研究・研究方法セミナーを実施します。「プログラム・発表抄録集」は、5月上旬にお手元に届くように準備しています。これとは別に、体育史学会ウェブサイトにも「プログラム・抄録集」をアップロードしますので、そちらもご覧ください。

なお、情報交換会を第1日目の一般発表・研究方法セミナー終了後に行います。多くの方のご参加を、お待ちしております。

1. 日程

1日目：5月13日（土）13:30～18:05

一般研究発表、研究方法セミナー（学会企画）、終了後に情報交換会

2日目：5月14日（日）9:10～12:00

一般研究発表、総会

2. 会場・会場責任者

龍谷大学深草キャンパス和顔館（わけんかん）201教室

<http://www.ryukoku.ac.jp/fukakusa.html>

会場責任者：佐々木浩雄 会員（龍谷大学）

3. 交通

JR奈良線「稻荷」駅（京都駅から約6分）下車、徒歩8分

京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅（京都駅から約5分）下車、徒歩7分

京阪本線「深草」駅下車、徒歩3分

http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_fukakusa.html

4. 参加費

会員：1,000円、非会員：2,000円、学生（会員・非会員を問わず）：無料

5. 一般研究発表時間

発表20分、質疑応答10分（計30分）

6. 学会企画：体育史研究・研究方法セミナー

演者：佐々木浩雄 会員（龍谷大学）

演題：研究テーマの一貫性と俯瞰的視野：「体育・スポーツと国民統合」というテーマから

7. 情報交換会

深草学舎紫英館 6 階グリル（大学キャンパス内）、非学生 5,000 円 学生 2,000 円

◆お願い◆ =====

情報交換会への参加を希望される方は、次の手順でお申し込み下さい。

1) 申込先：体育史学会事務局 taiikushi_office@taiikushi.org

2) 〆 切：2017 年 5 月 2 日（火）

3) 方 法：次の 2 点を記載したメールを、事務局へ送って下さい。

(1) 会員氏名、(2) 学生・非学生の別

=====

II. 日本体育学会第 68 回大会における企画

日本体育学会第 68 回大会は 2017 年 9 月 8 日（金）から 10 日（日）まで、グランシップ（静岡駅近く）と静岡大学において開催されます。専門領域体育史では、シンポジウムとキーノートレクチャーを実施する予定です。

1. 専門領域体育史シンポジウム

日 時：9 月 9 日（土）10:00～12:00

テーマ：体育史研究の体育授業実践への貢献と役割：体育史研究は体育授業にどのように生かせるか

演 者：福地豊樹（群馬大学）

○地方史研究を通して見ることができた体育授業：学校体育史研究の射程

鈴木秀人（東京学芸大学）

○体育授業の日常への歴史研究からの貢献

コーディネーター：榊原浩晃（福岡教育大学）

2. 専門領域体育史キーノートレクチャー

日 時：9 月 9 日（土）13:00～14:00

テーマ：近世日本弓術の様態と意義の多様化について

演 者：入江康平（筑波大学名誉教授、非会員）

司 会：大熊廣明（筑波大学名誉教授）

なお、一般研究発表の発表申し込み締め切りは、2017 年 5 月 19 日（金）13:00 です。詳しくは第 68 回大会のウェブサイトをご覧ください。

III. 『体育史研究』編集委員会より

1. 『体育史研究』第 34 号には、総説論文 1 編と原著論文 2 編、研究資料 1 編、シンポジウム報告 1 編（2016 年度シンポジウム：趣旨説明と論文 2 編で構成）、研究方法セミナー報告 1

編、国際学会参加報告 1 編が掲載されます。現在、印刷中です。

2. 『体育史研究』第 35 号（2018 年 3 月発行予定）への投稿をお待ちしています。第 35 号の投稿締め切り日は、2017 年 9 月 30 日です。なお、『体育史研究』への投稿の受付と審査は年間を通して行われ、各年度の投稿締切日は 9 月末となっています。詳しくは、『『体育史研究』投稿規定』（『体育史研究』最新号、または学会ウェブサイト [「体育史研究」→「投稿・編集規定」]）をご覧ください。

3. 『体育史研究』の投稿宛先は、次のとおりです。

1) メールでの投稿

体育史学会事務局 : taiikushi_office@taiikushi.org

2) 郵送での投稿

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11

神戸大学大学院 人間発達環境学研究所

秋元忍研究室気付 『体育史研究』編集委員会

IV. 「学会名鑑」の紹介

2016 年度総会（2016 年 5 月 15 日）で報告したとおり、体育史学会は 2015 年 7 月 24 日に日本学術会議の協力学術団体として登録が認められました。したがって、『体育史研究』は第 33 号（2016 年 3 月 31 日発行）から、学術団体登録誌として発行されています。

このような体育史学会の各種情報が、日本学術会議・公益財団法人 日本学術協力財団・国立研究開発法人 科学技術振興機構が連携して作成しているデータベース「学会名鑑」に掲載されています。以下、最新の情報に更新しつつ、「学会名鑑」に掲載されている内容をご紹介します。

和文名 体育史学会

欧文名 JAPAN SOCIETY OF THE HISTORY OF PHYSICAL EDUCATION AND SPORT

ウェブサイト <http://taiikushi.org/>

学術研究領域 心理学・教育学、史学、健康・生活科学

設立趣旨

多様化の容認と相互理解の促進をめざす現代社会において、体育・スポーツはこれ自体が変化するとともに、社会の変化にも避けがたい影響を与えている。このような状況の中、体育・スポーツと社会の将来を展望するために必要となる歴史的知見の蓄積が、社会的に要請されている。体育史学会はこの要請に応えるべく、体育史研究者による研究上の緊密な連携によって体育・スポーツ史に関する研究の発展を図ることを目的に設立された。

沿革

1961 年 日本体育学会体育史専門分科会（前身）設立

2011 年 体育史学会 設立（設立年月日：2011 年 9 月 25 日）

2015 年 日本学術会議 協力学術団体に登録

2016 年 日本スポーツ体育健康科学学術連合 加盟学術団体に登録

役員 会長 1 人、理事 6 人、監事 2 人（男性 8 人、女性 1 人）

会員数 正会員 221 人、学生会員 2 人、講読会員 5 人、名誉会員 12 人（2017 年 3 月 2 日現在）

刊行物 『体育史研究』

欧文名：Japan Journal of the History of Physical Education and Sport

創刊年：1984 年

最新号：34 号（2017 年 3 月発行）

発行部数：280（部／回）

URL：<http://www.taiikushi.org/db/>

他の学術団体との関係

日本体育学会 専門領域体育史

日本学術会議 協力学術研究団体

日本スポーツ体育健康科学学術連合 加盟学術団体

V. メールアドレスの登録について（お願い）

体育史学会では会報を電子化した上で学会ウェブサイトにはアップロードし、これを会員のみみなさまにメールマガジンで案内しています。また「日本学術会議ニュース・メール」や事務局に届いた各種研究会、シンポジウムなどの情報も、お届けしています。

現在、約 65%の会員のみみなさまにはメールマガジンをお届けできていますが、残りの約 35%のみみなさまにはお届けできていない状況です。つきましては、メールマガジンが届いていない会員のみみなさまにおかれましては、以下の「1. メールアドレスの用途」をご理解の上、メールアドレスの登録にご協力ください。

1. メールアドレスの用途 ※. 1)～3)の用途以外に会員のメールアドレスは使用しません。

1) 事務局から会員への各種お知らせ（会報のアップロード他）

2) 事務局から会員への問い合わせ

3) 一般社団法人日本体育学会事務局から体育史学会会員への連絡・問い合わせ

2. メールアドレスの登録（変更）の方法

1) 宛先：taiikushi_office@taiikushi.org（事務局：和田 浩一）

2) 件名：体育史学会メールアドレス登録（またはメールアドレス変更）

3) 本文：「会員の氏名・所属」「メールアドレス」「メールマガジンへの登録（アドレス変更）の希望」を明記してください。※. 携帯電話のメールアドレスは登録できません。

3. メールをお使いにならない場合

はがきか封書でその旨を事務局へご連絡ください。メールをお使いにならない会員に対しては、そのお申し出を受けて、紙媒体の会報や案内をお送りしています。

以上